

ありがとうとんとん

愛知県
豊橋市立つづじが丘小学校一年

のぐち ゆうき

ほくのいえはてれびで見るような、だいかぞくです。ほくのかぞくは、おとうさん、おかあさん、おにいちゃんふたり、おねえちゃんさんなん、おとうとひとり、いもうとふたりの11にんかぞくで、ほくは9にんきょうだいのうえから6ばんめです。

とんとんは、ほくのおかあさんです。なぜとんとんとよぶかというと、すこしふうとうでいるから、おかあさんに、ちよくせついうとおこられるのでおかあさんに、きこえないようにかくれてとんとんとよんでいます。でもたまに、とんとんとよんだのがきこえると、おかあさんは、9にんもこどもをうんだからしようがないとすこしおこづいています。

とんとんはせかいでいちばんすごいとほくはおもいます。

とんとんは、あさ、ほくたちよりはやくおきて、よくほくたちよりおそくなて、よなかに、ほくがといれにおきると、いちばんしたのいもうとしおに、いつもみるくをあげたり、だっこをしてなきやましています。せんたくきは、ほくたちのふくがいっぱい今までわりばなし、いえのなは、ほくたちきょうだいがあはれまわって、ちらかしたり、おとうとやいもうとが、ものをこわしたりしてへやのなががぐちやぐちやになつてしまつたものをほくたちをおこりながらとんとんがほんどうかたずけをします。ごはんのしたくも、おおきななべで

おねえちゃんたちがつだいながらつくります。

ほくは、おふろあらいとたまにさらあらいをします。それとにちようびにあさいちのやすうりに、たまごひとりひとぱつくを5、6にんでいくので5ぱつくかいります。

でも、れじのひとに、たまにとめられ、ひとり1ぱつくですよ、といわれます。でもとんとんは、おみせのひとをにらんで6にりますと、ちよとおこづいています。ほくは、そんなとんとんをみていると、すごいなとおもいます。ほくは、あさもとんとんにおこされます。がつこうぐみはみんなおこされ、ごはんたべなさい、わすれものはないととんとんからいわれます。でもときどきなまえをまちがえたり、たのんだぶりんとにはんこつがおしてなかつたりします。

ほくのおかあさん、とんとんはほくたち9にんのきょうだいのために、あさからよるおそらくまではたらいてよるになると、かたがいたいといいます。ほくは、たまにかたをもみます。かたはほくがちからいばいもんでも、かたくてもめません。でもとんとんは、きもちがいいといいます。

とんとん、まいにちほくたちのためにがんばつてくれてありがとう。ほくが、おおきくなつたら、らくをさせてあげたいです。だいすきなおかあさんとんとんほんどうにあります。